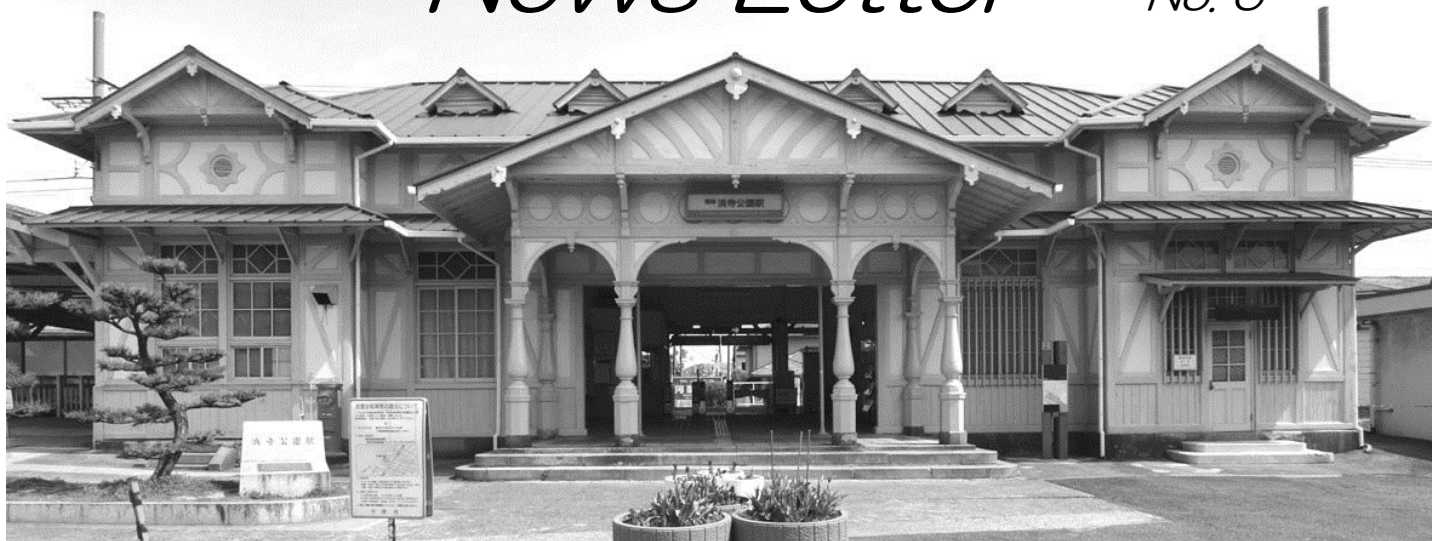


News Letter

No. 6



平成26年度の活動報告

平成26年度決算

5月10日に平成26年度の社員総会が開催されます。今期は現役員の2年間の任期が終了いたしますので、事業報告、決算の承認とともに、役員の変更が行われます。

当法人の事業目的である浜寺公園駅の駅舎保存活用につきましては、南海本線の連続立体交差事業が、当初の計画よりはかなり遅れては居りますが、いよいよ、工事の実施段階に入って参りました。

しかし、当法人の本格的な事業実施は、現駅舎の仮移転後になりますので、それまでは準備期間となっております。

従いまして、今期は、昨年同様に自治会から委託されたふれあい食事会といきいきサロンの実施、および、駅舎ギャラリーを借りて展示会を開催してその運営についての体験を行いました。

また、現駅舎の移転に先立って、その活用の計画を立案して、設備に対する要望を堺市に提出する準備を致しております。

細かい内容については、総会に先立ち会員の皆様に総会の議案説明資料をお送りいたします。

会計につきましても、その説明書に活動計算書などを掲載致しております。その概要は以下の通りです。

収益	560,113 円
費用支出	426,955 円
正味財産増減	133,158 円
次期繰越金	448,168 円

役員の変更につきましては、昨年は理事8名、監事2名で運営致しておりましたが、平成27年度には、前期の役員の再任に加えて、新たに理事1名を増員することを提案致しております。

連続立体交差事業の工程

仮線の建設のために用地買収は工事区間全域でほぼ完了しました。諏訪ノ森の周辺では、まだ土地の明け渡しが残っていますが、差し当たり、工事の開始には支障がないようです。

浜寺公園駅の西側では、平成26年度に、信号関連施設の移転工事が行われました。

これに続いて、仮駅の建設準備が始まりました。仮駅が完成すると、そこからプラットフォームまでは、地下道を通して、行き来するようになります。この駅は、現在、上り線と下り線のプラットフォームをつなぐ地下道を備えています。また、駅の東西を直接つなぐ構外の地下通路があります。新しく出来る仮駅から、これらの既設の地下道に通じる新しい地下道が建設されます。

これらの地下道が完成すると、仮駅の建設に取りかかります。仮駅には、改札口と地下道へ降りる階段とエレベータ、役務室などが設備されて、現在の駅舎の機能が置き換えられます。

仮駅の設置場所は、駅前広場の、現駅舎の西北部です。仮駅舎の建設工事期間は平成27年4月から12月までと予定されています。

NPO法人日誌

平成26年4月27日
第2回通常総会開催致しました。

平成26年7月と12月
浜寺公園駅ギャラリーにて
地域の作品展を開催致しました。

いきいきサロン
平成26年 4月、5月、6月、7月、
9月、10月、11月、12月、

平成27年2月、3月
年間10回、開催を致しました。

ふれあい食事会
平成26年 6月、9月、12月
平成27年 3月
年間4回、開催致しました。

理事会は、次の通り開催致しました。
平成26年 4月27日
8月16日
11月22日
平成27年 2月21日

当法人は、登録有形文化財である浜寺公園駅舎の維持管理と活用に関する事業を行い、その活用事業をもって地域住民の交流を図り、周辺地域のまちづくりの寄与することを目的としています。

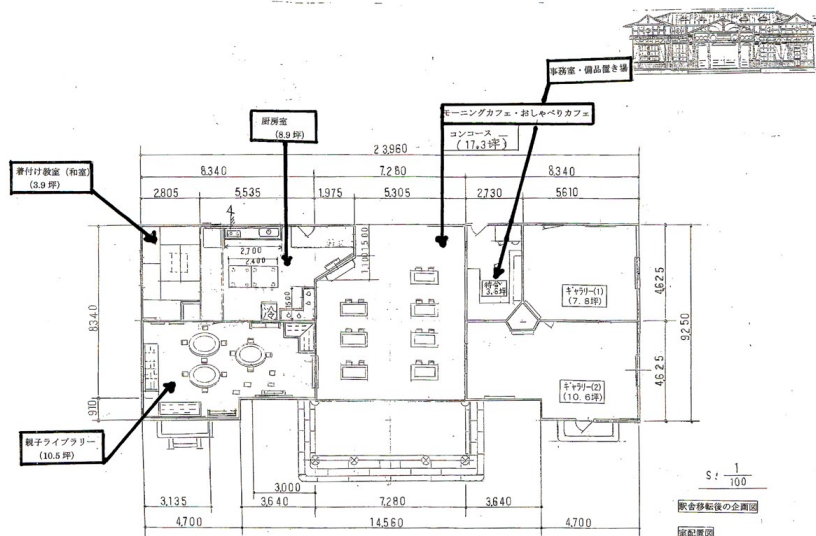
現駅舎の仮運営に向けて
どのようなことが出来るか
考えてみましょう

現駅舎は、仮駅が完成すると、長年の駅舎としての使命から解放されて、まちのシンボルとして駅前に存在し、末永く保存され、活用されることになっています。

右の図は、駅舎の平面図です。配置は、上が東です。左側を北館、右側を南館、その間の空間を中央通路と名付けます。

1. 駅舎の活用、その目的と狙い目は何か
駅舎を保存活用することによって、
人が集い、情報発信が盛んになる。
文化財がまちのイメージを象徴する。
お屋敷街、閑静な住宅地の持つ魅力とその価値が高くなる。
浜寺公園が人を誘い、その玄関口に駅舎がある。
2. 活用計画で求められる要件
収益が期待出来る
毎日開いている
開放的で呼び込み効果がある
誰でも入ることが出来る
出入りしやすい構造になっている
精神的に抵抗を感じず気軽に入れる
来る人と迎える人の一体感が醸成される
街の人が運営している
3. 考えられる仕掛け
ギャラリー
催し物
カフェとスナック
物品の販売(地域の物産、土産物、記念品・・・)
展示、歴史館
観光案内
便宜の提供
図書館、ミュージック・ライブラリー
憩いの場
教室(成人、高齢者、子ども)
育児の場所
トイレ

上の図の右側に書かれている南館は、いままでギャラ



リーとして貸し出されていきました。比較的安い料金で借りることが出来るというので、広い地域の方々が展示をされていました。

現在は移転工事がはじまりますので貸し出しは中止されています。二つの部屋には、明治40年の建設当時の雰囲気そのままだけに残っています。この部屋のたたずまいを生かした展示空間はユニークなギャラリーとして活用するのが最適です。また、そこでは、絵画や各種のデザイン展だけではなく、音楽を鑑賞したり、その他の文化活動のための小ホールとしても利用出来ます。

左側の北館は、現在駅務室として使われています。内部は三室に分かれています。その隔壁は必要ならば取り除くことも出来そうです。もちろん、構造上の強度などの条件を満たすことが条件になります。

現在、NPO法人の実行委員会、一つの提案を準備しています。一例として、親子図書館を設置する、着物の着付け教室を設ける、といった案があります。また、右上の部分は厨房を設けてカフェとしての機能を持たせようという考えも出ています。

中央通路の所はカフェなどに利用して、団らんの空間にしてはどうかという案になっています。

左に、検討の指針を掲載していますが、このような条件を勘案して、会員の皆様も提案に参画し、試験活用が始まりましたら、その運営に参画して頂ければ、きっと素晴らしい活用の成果が出てくると思います。

オリンピックではありませんが、このようなプロジェクトは、参加することに意義があります。NPOは会員の皆様が活動に参画して、楽しみを共有することにより成長発展します。そのお手伝いをするのが役員の仕事です。

特定非営利活動法人 浜寺公園駅舎保存活用の会
堺市西区浜寺昭和町2丁177番5
電話: 072-266-1233

NPO法人で何かやってみたいという会員募集
駅舎を保存活用して、楽しいまちづくりをする会です。
駅舎の中でやってみたいことを募集しています。こんなことをやって欲しいと言うご希望も歓迎です。